



菊武学園フラッシュニュース

国際開発ワークショップの学生プレゼン大会で「審査員特別賞(財務省)」を受賞

名古屋産業大学では、2027 年 5 月に名古屋市で開催される「第 60 回アジア開発銀行（ADB）年次総会」に向けた 300 日前イベント「国際開発ワークショップ」の学生プレゼン大会が、7 月 10 日に名古屋大学で開催され、本学学生が「審査員特別賞（財務省）」を受賞しました。

国際開発ワークショップは、ADB や財務省関係者の協力のもと、学生が国際開発や途上国が抱える課題について学び、その解決策を提案する実践型のプログラムです。学生プレゼン大会では、公募に応じた地域の学部生や大学院生約 50 名がグループ発表を行いました。

本学学生と愛知県立大学の学生による共同チームは「フィリピン・セブ島における洪水対策」をテーマに発表を行いました。現地での実地見聞や調査を通じて把握した課題をもとに、地域の実情に即した防災・減災策を提案しました。現地での調査や住民の声などを提案内容に反映し、机上の検討にとどまらない実践的な提案を行った点が財務省の審査員に高く評価され、受賞につながりました。



(受賞した学生)

本学では、国内外の地域課題に対して主体的に取り組む実践的な学びを重視しています。今回の受賞は、学生が国際的な視点を持ちながら現地の課題解決に挑戦した成果であり、今後のさらなる活躍が期待されます。

2 年生 学園姉妹校3校を訪問

菊華高等学校では、7 月 6 日に第 2 学年が姉妹校である名古屋産業大学、名古屋経営短期大学、専門学校名古屋ウェディング＆フラワー・ビューティ学院を訪問しました。

姉妹校を訪問する前に事前学習を行い、大学や専門学校はどのようなことが学べる場所なのか、大学では学部・学科と将来の仕事への繋がり方はどう変化していくのか、専門学校では特定の仕事に必要な技術や資格がどれくらい得られるのかなど、進路を選ぶ際の参考になるよう大学や専門学校へのイメージや特徴などをまとめて実施しました。

今回の姉妹校訪問が初めてのオープンキャンパス・学校説明会への参加になった生徒も多いましたが、参加した後、生徒たちからは「体験講座の先生方の説明がとても分かりやすく楽しかった」「就職を考えていたけれど、大学でもっと学んでから社会に出ていくという選択肢も増えた」などの感想が聞かれました。今回の訪問を通じて、生徒たちが将来の選択肢を広げることができたといきいきと話す姿がとても印象的でした。姉妹校を知る貴重な機会となりました。



(姉妹校訪問の様子)



(体験授業の様子)

これからもオープンキャンパスや学校説明会に参加し、授業や学生生活の雰囲気を感じること、将来やりたいことが見つかると、より自分に合った進路や学校を選ぶことができるようサポートしていきます。

車いすバスケの北田選手講演会を開催

菊武ビジネス専門学校では、7 月 15 日に車いすバスケットボールの北田千尋選手（LINE ヤフー株式会社／Cocktail 所属）をお招きして講演会をウィルあいちで開催しました。

講演会では、日常生活用と競技用車いすの違いの実演を交え、「普通なんて誰かが決めたもの。人と違って当たり前」と語る北田選手。目玉焼きにかける調味料が違って否定しないように「理解できなくてもただ受け入れ合えば、みんなが生きやすくなる」と言葉を贈ってくれました。失敗を「うまくいかない方法を見つけた成功」と捉え、自分の価値観を広げていく大切さを学んだ貴重な時間となりました。



(講演会の北田選手)

オープンキャンパスで「謎解きイベント」

名古屋ウェディング＆フラワー・ビューティ学院では、オープンキャンパスにご参加いただいた高校生や保護者の方に、本校の魅力がイベントで楽しく伝わればと思い、この日だけのスペシャルイベント『謎解きイベント』を開催しました。館内全体に謎を仕込み、クイズに答えたり、ゲームをしたり、宝探しのようには正解を探したり、スタンプラリーをしたりして謎を解いていくゲームを行いました。

各スポットから笑い声や盛り上がっている声が聞こえ、高校生や保護者の方は、全クリアに向けて館内を見学しながら各スポットを周り、ブライダルに関わるクイズに挑戦していました。

初の試みのイベントでしたが、充実していたとお声掛けいただき、盛況に終えることができました。



(スタンプラリーの様子)

地元企業説明会を開催

豊橋宮野ビジネス高等専修学校では、7 月 8 日に「地元企業説明会」を開催し、生徒 33 人が地域企業の仕事への理解を深めました。

企業説明会には、自動車部品を製造する株式会社秦野精密とコンクリート製品を手がけるフジプレコン株式会社の 2 社にご参加いただき、担当者は映像を交えて、事業内容や働く上で大切な姿勢を紹介されました。その中で、株式会社秦野精密の担当者は「ただ仕事をこなすだけでなく、周囲と連携する働き方が重要である」と助言され、フジプレコン株式会社の担当者は「お客さまの困り事を解決することに達成感がある」と語られました。



(地元企業説明会の様子)

地元企業から多数の求人が寄せられる中、今回の企業説明会は企業のことをより深く知り、進路を考える貴重な機会となりました。

年長児 航空自衛隊小牧基地を見学

菊武幼稚園では、7 月 13 日に年長の子どもたちが航空自衛隊小牧基地を見学しました。自衛隊の方たちが温かく迎え入れてくださり、制服の隊員さんをヒーローのように見入っていました。まず始めに大型破壊機救難消防車の放水を見て、園児たちの「オーッ！」という歓声が上がり、音の大きさや水の勢いなどの迫力を全身で感じとっていました。さらに消防隊の装備を身に付け、とてもうれしそうな表情を浮かべていました。その後、パイロットによる K/C-130H の機内やコックピットの説明をしっかりと聞きながら見学しました。間近で見る本物のスケールのすごさは、園児たちの心に印象強く残ったと思います。日常では味わえない貴重な体験をすることができ、充実感に満ちた一日でした。



(小牧基地見学の様子)

阿武松部屋の力士とふれあい体験

稲葉保育園では、7 月 1 日に阿武松部屋の朝稽古を年中、年長児が訪問し、力士の皆さんと楽しく交流をしました。子どもたちは、実際に土俵の上にあげてもらい、力士と相撲をとる貴重な体験では、大きな身体に驚きながらも一生懸命力を出して挑戦する姿が見られました。質問コーナーでは「好きな食べ物は何か?」「何を食べたら大きくなれますか?」など、子どもならではの素直な質問が飛び交い、力士の皆さんは優しく丁寧に答えくださいました。力士との触れ合いを通して、相撲への興味を深めるとともに、体を動かす楽しさや、食事の大切さについても学ぶことができた、思い出に残る一日となりました。



(力士に元気づけ立ち向かう園児)